

## ISO/TC61/SC2 (機械的性質) 分野の最近の動向

ISO/TC61/SC2は、プラスチックの機械的性質の試験方法に関する規格の制定・改正を担当している。2022年11月の段階で49の規格が発行され、14の規格開発プロジェクトが進行中である。SC2傘下で活動中の作業部会 (WG) を第1表に示す。なお、WG4は開発案件がないため、現在休止中である。

第1表 TC61/SC2のWG

WG	コンビナー	タイトル
1	ドイツ	静的力学特性
2	マレーシア	硬度及び表面特性
3	アメリカ	衝撃及び高速度特性
5	イタリア	温度依存特性
6	中国	試験片の寸法
7	韓国	破壊及び疲労特性
8	日本	データの表示方式

\*幹事国：中国、議長国：韓国 (2022年11月)

第71回 ISO/TC61年次国際会議は、2022年10月にスウェーデン (ストックホルム) で開催予定であったが、前年、前々年に引き続き、新型コロナウイルスの影響で対面会議が開催できず、9月にWeb開催となった。TC61/SC2関係では、各WG会議、およびSC2全体会議が開催された。SC2全体会議には、22カ国のPメンバー中、12カ国から合計24名が参加し、各WG報告及び討議の後、計19の事項が議決されTC61全体会議で報告された。本稿では、年次国際会議での議論内容を中心にTC61/SC2の2022年11月時点での動向につき、WG別に概要を報告する。

### 1. 静的力学特性 (WG 1)

日本提案のISO/DIS 22183は、現在DIS投票中であり、来年1月までに投票結果への対応を実施する。また、ISO 22183に関連した新規規格開発を開始する。ISO/CD 899-2は、改正CD投票で承認され、コメント対応を討議した。今後DIS向けのドラフト作成を進める。定期見直しの結果、ISO 527-2は改正、ISO 604及びISO 899-1は確認となった。

### 2. 硬度及び表面特性 (WG 2)

新規提案の2件 (ISO/PWI 9990及びISO/PWI 8809) の検討進捗状況が報告された。ISO 19252改

正は、定期見直し時のコメント対応を討議した。今後日本主導で、CD段階を経てDISに進める。定期見直しの結果、ISO 9352及びISO 6601は確認となった。

### 3. 衝撃及び高速度特性 (WG 3)

ISO 13802は、正誤表ではなく、改正に進む。ISO 6603-2改正、ISO 179-1改正及びISO 180改正は、いずれもDIS投票で承認され、コメント討議結果をもとに修正ドラフトを作成、FDIS投票に進む。ISO 8256改正は現在DIS投票中である。

### 4. 温度依存特性 (WG 5)

ISO 306は、DIS投票時のコメント対応を報告した。現在FDIS投票中である。ISO 458-1、-2は、日本で使用されており、確認となった。ISO 75-3はRRT状況が報告され、改正に進む。ISO 75-2は次回定期見直しに向けてのPP試験の状況が報告された。

なお、コンビナーのMr. Andrea Calzolariから、今年末でのコンビナー退任の申し出があった。

### 5. 試験片の寸法 (WG6)

ISO 20753改正は、現在DIS投票中であり、投票終了後にコメント対応の討議を実施する。新規アイテムとして「試験片半径寸法の求め方」が提案され、PWIに進める。TC61直下WG13所管規格であるISO 20457のTC61/SC2/WG6への移管が決定した。

### 6. 破壊及び疲労特性 (WG 7)

ISO/PWI 11325の内容が紹介された。ドラフトは作成取進め中である。ISO/DTS 20979 は、タイトル及び内容の変更が討議され、修正ドラフトでDTS2を実施する。ISO/DIS 23524はDIS投票で承認されたが、反対国のコメント内容を討議し、修正ドラフトでFDIS投票に進む。ISO/PWI 11207は、検討状況とタイトル変更が討議された。ISO/PWI 11309、PWI 11288及びPWI 18485には進展がなかった。

### 7. データの表示方式 (WG8)

ISO 11403-2は、FDSI投票で承認され、発行済である。定期見直しの結果、ISO 10350-1は改正に進み、ISO 17282は確認となった。ISO 10350-2のTC61/SC13/WG2への移管は中止され、引き続きTC61/SC2/WG8が所管する。